

新入生・保護者への入学式オリエンテーション

平成 28 年 4 月 7 日

教育担当理事（副学長）

柴田正良

学生生活について

入学後の学生生活に関して保護者のみなさんと、学生のみなさんにお伝えすべきことはたくさんありますが、しかし、ここでは、本質的な点についてだけ簡単にお話します。したがって、授業料免除や、4 学期（クォーター）制や、履修上限のキャップ制など金沢大学の学則や履修規程に関する事、また、あつてはなりません、試験の際の不正行為を含む学生懲戒規程のことなどに関する詳細は、後で必ず、各自で確かめておいて下さい。

さて、かつてのイギリスの哲学者・思想家、ジョン・スチュワート・ミルは、自由主義の大原則を次の一言で言い表しました。それは、「他者危害の原則」(Principle of harm to others)です。これは、成人となり最低限の理性能力を備えた人なら、誰もが、「他人に危害を加えない限り、何をしても基本的に許される」、というものです。そしてこれから、みなさんは、その自由の恩恵に浴する主役となります。みなさんは、これから多くの点で、これまででない自由を享受することでしょう。しかし、そのことに関して、注意しておくべきことが幾つかあります。それが、このお話のテーマです。

まず、みなさんの自由が「他者に危害を加えない限り」、つまり「他人の自由を侵害しない限り」という条件付きであることを深刻に受け止めて下さい。これは、自分の行為の結果が他人にとって何を意味するのかを、その人の身になって想像することを要求します。それは、交通違反や様々なハラスメント、嫌がらせやストーカー行為など、多くの場面で、みなさんが、「他者の自由」の観点から、自分の振る舞いを律しなければならないことを意味します。これが、大人の社会の大原則であり、それは大学でも変わりません。

例えば、アルコールハラスメントは、お酒を強要することによって「呑まないでいる自由」を他者から奪い、それを見て見ぬ振りをするのは、「誰からも束縛されないでいる自由」を本人から奪います。

以上は、「他人の自由を守る」という話ですが、「自分の自由を守る」ことも、もちろんそれに劣らず大事です。自分の自由は、「自己決定の自律性」に依拠します。つまり、「自分は自由だ」と思い込んでいても、実は、薬物やマインド・コントロールによって、その「自己決定の自律性」が蝕まれている場合があります。アルコールやタバコへの依存も、弱いとはいえ、その一例と言えるでしょう。

その中でも注意してもらいたいのは、最近のカルトです。残念ながら本学でもこの時期、勧誘についてのトラブルが幾つか発生しています。カルトというのは自分たちの集団の本性を隠して、

勧誘をしてくる団体です。自分たちが宗教団体であることを隠してアプローチしてきます。少し話は細かくなりますが、例えば「ゴスペルの演奏会」や「国際交流の催し」と称して学外に連れ出そうとします。そこで、まずは、信頼できるという確信がもてるまで、自分の携帯の番号や個人情報などを決して相手に話さないでください。もしもトラブルになったら、すぐに私たち、学生係やアドバイス教員に相談してください。カルトは、精神的な面から、「自己決定の自律性」を脅かし、結果的にはみなさんの自由を台無しにします。

それから、さらに注意してもらいたいのは薬物です。麻薬などには手を出さない、とみなさんは今は思っていることでしょうか。違う名称を使ったり、「法律違反ではないよ」と言って、脱法ハーブや違法ハーブを勧める人たちがいます。また、海外に渡航した際に気が大きくなったところにつけこまれる場合もあります。最近大きな話題になった、かつての野球選手の大スター、清原元選手も、一度使用したあとでは、どうやっても覚醒剤を止められませんでした。これは、身体の内面から「自己決定の自律性」が崩壊し、自由が決定的に失われた典型的な例です。

最後に、保護者、ご家族のみなさんにもお伝えしたいことがあります。それは、お子さんたちの自由をできるだけ尊重して頂きたいということです。とくに、昨今の少子化社会では、お子さんに対する親御さんの期待はますます大きくなるばかりです。自慢の息子さん、娘さんであることは良く分かります。しかし、彼らの人生は保護者のみなさんのものではありません。彼ら自身のものであります。毎年、進級、進学、就職の時期になると、親御さんの大きすぎる期待に押しつぶされて、うつ病になったり、最悪の場合には自ら命を絶ったりするケースがあります。「他者の自由を侵害しない」というのは、実は、家族の間でさえも、いえ、家族の間だからこそ重要なのだ、ということをごぜひお考え頂くようお願いいたします。

OK.

This is my final word for all freshmen and -women of our university.

Please enjoy your greater freedom than before.

And study hard to find your brilliant future here.

Good luck.

Thank you.